

行云流水

No.127 令和3年11月29日発行

君たちなりの自己実現

校長 寒河江 正人

今、楽しみにしていることがある。

それは、3年生の後を継いだ「**君たち2年生・1年生のこれからの成長**」だ。

生徒会長の矢口菜楠さん、副会長の澁川颯くん、九十理央菜さんたちリーダーと
そして、**多くのフォロアー**がどんな「**成長の過程（プロセス）**」を見せてくれるのだろう。
これから来年に向けて、どんな「**花**」を咲かせてくれるのだろう。
そう考えるだけで「**わくわく**」する。

2学年主任の三宅貴紀先生、生徒指導部長の鈴木翔悟先生、生徒会担当の奥山めぐみ先生
には、「**生徒たちのよさを活かして、こんな風に育てて欲しいなあ。**」と語ってきた。

「**先輩たちのまね**」でなくていい。「**2年生・1年生のよさ・特性**」を活かして欲しい。
望むのは、ただ一つ。

「**君たちなりの自己実現**」である。

ただし、「**花**」を咲かせるまでには「**手間と時間**」がかかる。
生徒と生徒、生徒と教師が、「**花**」を咲かせようとして、お互い懸命に関わっているうちに、
成長への関心と期待が高まり、お互い**愛情**が湧いて育まれてくる。

君たち生徒諸君は、本来、「**成長する力・可能性**」を内に秘めている。
これを引き出し、伸ばすには、**周囲の大人と生徒相互の関わり方が「カギ**」となる。

「**結果や成果**」をせいては、事を仕損ずる。
先の見通しをもち、腰をじっくりと据え、時には**タイミング**を見逃さず積極的に仕掛け、
時には時期が来るのをじっと待つ。
リーダーにも、フォロアーにも、「その我慢、その心のゆとり」が欲しい。
「**生徒自身が育つ**」には、生徒相互の「**意志と可能性**」を信じ、「**愛情をもって押し支える**」
こと。そして、「**腰を据えて待つ**」。それが、「**リーダーとしての心得**」だ。

生徒諸君一人ひとり「**君たちなりの花（自己実現）**」を咲かせて欲しい。